

その他の土木工事業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	店舗裏の氷（高さ約3m、幅約5m、厚さ、約30cm）撤去作業中、かけやを使用して横から砕いていき、残り約1.3mのところでは屋根から落下した氷が脚立に当たり転倒し、その際に氷に挟まれ負傷した。	56	—
1	11～12	自社加工場内で資材の氷取り作業中、足元の氷に足を滑らせ転倒し、右人口股関節の周囲を骨折した。	55	10～29
1	11～12	大型ベンチフリュームの底にて作業を行うため下に降りようとした際、足を置く所の目測を誤り、バランスを崩して転倒し、大型ベンチフリュームの淵に股間にぶつけて被災した。	44	30～49
1	9～10	雪を払うために歩いていたところ、アスファルト脇に凍結したところがあり転倒した。その際、農業用草けずり（長柄約120cm）を持っていたため、左手首をねじり骨折した。	63	1～9
1	10～11	資材を置くため、単管パイプ棚を作る作業中高さ80cmの棚からトラックの荷台上へ移動する際に足を滑らせて転倒、右肋骨及び右足を強打し負傷した。	54	—
1	14～15	工事現場で、掘削部分の鏝落復旧の写真を撮るため降車場に車を止め、車から降りた時に車止に躓き、転倒し尻もちをついた際に負傷した。	78	1～9
1	16～17	当社の資材置場にて仮設資材の整理作業中、地面に置いてあったバタ角（約10cm角の角材）につまずきバランスを崩し転びそうになり右手を地面についたとき、右手首をひねった様な状態になり負傷した。	44	10～29
	9～	碎石場で10tダンプに碎石を積み込して、計量計に乗り、伝票を取りに事務所に行		1～

1	10	くときに、足元が凍結して滑って転倒し、左肩を骨折した。	57	9
1	15~ 16	水源地試掘作業中に、ロッド（Φ140mm、L=6.0m／本）数本を接続して試掘孔に挿入し、そのロッドを引き上げて切断作業をする際、ロッドの切断に使用している大スパナを取り外していたが、容易に取り外す事ができなかったため、少しゆるめるためハンマーでスパナに打撃を加えようとした時、足元のバランスを崩し尻もちをついた。その時機械の台座のH鋼の角にあたり負傷した。	51	1~ 9
2	14~15	除排雪の業務中に足を滑らせ転倒し、その際に左手を受傷した。	54	10 ~ 29
2	8~9	後片付け作業中、会社敷地内を徒歩で移動中、坂道で転倒し腰を強打する。下り坂で路面が凍結し滑り易くなっていたので注意していたが足元が滑り転倒した。転倒後、痛みが酷いので、休憩室で安静にしていたが、あまり改善されないため病院へ行き診察の結果、腰椎突起部が骨折していた。	41	30 ~ 49
2	9~10	幅3m90cm×幅3mの長方形の広さの場所に太さ13mmの鉄筋を組みコンクリート打設作業をしている時、生コンをスコップで敷均ししようと鉄筋の上を移動した際、躓き転倒し右足アキレス腱を断裂した。鉄筋は20cm間隔で捨コンクリートより6cm浮いた状態であった。	64	—
2	14~15	横断地下道の東側出入口部において、地下道内の作業（漏水補修）が終了し、後片付けをして事務所に戻ろうとした時、作業中（1.9tダブルピック）の周囲に堆積した細かな砂利に足を滑らせ転倒し、左手首を突いて負傷した。	51	10 ~ 29
2	16~17	寮内の駐車場の砥石の均し等の作業を行っていたところ、第1と第2の駐車場の80cm位の段差があり、移動する際に通路（階段）を歩行していた時、左足が滑り負傷したものである。	50	10 ~ 29
2	10~11	新築中アパートの外構工事の不整地にて、可変脚仕様のバックホウ（0.05?型）でキャタピラ幅を最小にして前進し作業場所到着後にキャタピラ幅を拡げる操作をしていた。当該場所は水道管等の埋設が終了直後の軟弱地盤であるため、キャタピラ幅を拡げるため車体を支えていた排土板の左下が軟弱地盤に潜り込んだ。車体が	36	1~ 9

		左側に傾いた為、運転手が隣地境界のコンクリート擁壁（H≒40cm）下に投げ出され、擁壁天端に右足のみ乗っていたところバックホウが倒れてきて挟まれた。		
2	11~12	事業所内において、ダンプでの運搬作業に取り掛かる際に荷台にゴミを発見し、取り除こうと乗り込んだところ、前日からの雨で荷台の上が滑りやすくなっており、足をとられて前方へ倒れた。その際に荷台のヘリで胸部を強打し、痛みが治まらず病院を受診したものである。	50	—
2	10~11	鉄筋籠（長さ9m、直径88cm）3本をトラックに積み、荷締めをしていた。鉄筋籠をしっかりと固定するため荷締めのワイヤーをずらそうと鉄筋籠の上を歩いたところ、鉄筋から足を踏み外し（鉄筋の幅縦287mm、横282mm）膝まで鉄筋籠の中に足を突っ込むと同時に転落しかけ、宙吊りになった。その際右足脛を骨折した。	63	30 ~ 49
3	9~10	コンクリート土間の路盤を製作のため残土をバックホーでダンプに積み込み作業を行っていた。残土を積み込みブームを旋回中、バックホーが横転し、バックホーの屋根の一部に首を強打した。	51	1~ 9
3	14~15	被災者は燃料と材料の間の床養生（ブルーシート）された所を歩行中、シートのほころび部に右足を引っ掛け右足を跪き、膝をコンクリート床に打ちつけ被災した。被災者は作業状況を確認するため、ブルーシート上を一人で歩行していた。	59	300 ~ 499
3	8~9	庭園の工事において、庭園の石を運搬中、石を両手で持ち上げたときに、足元がぬかるんでいたためバランスを崩し転倒し、左手中指を持っていた石と地面に挟み負傷した。	34	1~ 9
3	15~16	残土場で残土受け取り作業中、河川の広い場所で踏み固め作業中にバックホウが転倒し、負傷した。	63	10 ~ 29
3	11~12	転倒した時、持っていた黒板が当たり、肋骨を打撲した。	35	1~ 9
3	14~15	堀削土10tDTに積込作業中、土がなくなり、少し段差のある所を重機で登り土をかき集め、そのまま後進してしまい段差で天秤状態になり、半回転して転倒した。ブームを引き寄せて重心が重機の真上に行き、転倒しやすい状態に重機があった。	43	10 ~ 29

3	9~10	農業用水路改修工事現場で、型枠のコンクリート打設後の片付け作業において、型枠の内側からタル木の切れ端を持ち出している時、型枠を越えようと足を型枠に引っ掛けて前に転倒し、左手首を負傷した。	61	1~ 9
3	9~10	工事完成後の溜池において、測量を行っていた。溜池に1cm位水が溜った状態で滑り易い状態だったため転倒した。受身が取れず、足を負傷した。	65	10 ~ 29
3	8~9	船上にて錨ロープ引き上げ作業中に、踏ん張っていた右足が滑り、右足首をひねった状態で倒れた為、右足首を2カ所骨折した。	59	50 ~ 99
3	10~11	ヤードでコンクリートガラの破碎中、高さ30センチのロープに右足をひっかけ、右膝をコンクリートにぶつけた。	50	10 ~ 29
4	11~ 12	敷地内の竹林において、伐採した竹を粉碎機で細かくチップ化するため機械まで運ぶ際に、竹の切株を踏んでしまい、左足首をひねって負傷した。	33	10 ~ 29
4	13~ 14	当社資材置き場内駐車場で改良土移動作業終了し、通勤用自家用車で帰宅する際に自家用車から降り、急いで駐車場ゲートを開けようとした時、石につまずき勢い良く駐車場ゲートに突っ込み、ゲートに挟まれて左手小指、人差し指を損傷した。	21	1~ 9
4	13~ 14	サービスエリア内トイレで床洗浄機を修理業者に引き渡した後、清掃準備のためゴミ分別所に向かう途中。歩道を歩いていて側溝周りの路面のくぼみに足を取られて転倒し、右膝と左脇腹を強打した。被災当時、手ぶらで普通の速度で歩いていた。	61	50 ~ 99
4	10~ 11	自社資材置き場で建築廃材の積み込み作業中2tダンプに倉庫内の土嚢袋を積もうとした時に脚立を使わずに2tダンプの荷台に上がろうとしたため足を滑らせ転倒し、荷台で胸を強打した。	37	1~ 9
4	12~ 13	監査廊部のインバートのメタルフォーム上にて丸鋸で材料を切っている際、材料を取ろうとした時に滑って転び、左足大腿部の裏側を強く打った。	46	10 ~

				29
4	15～ 16	河川の川床で、資材の片付け作業中、荷物運搬中に川床に足を滑らせ、河原の石につまずいた際足首をくじいた。又その際しりもちをつき掘削口へ滑り落ちた後、頭部を打った。作業していた場所は足元が粘性土で常に湧水があり滑りやすい状況だった。なお、保護具（ヘルメット・手袋・安全靴）は全て着用していた。	55	1～ 9
5	14～ 15	現場で鉄筋組みをしている時、組んだ鉄筋に躓き手から転んだ。	23	～ 49
5	16～ 17	資材置場にて壊したコンクリート片を潰して一定量溜めてトラックに積む作業をしている時に、積み込み機械の旋回範囲内に作業員が入りコンクリート片に支柱が付いたものがバケットからはみ出していて、作業員の服に引っ掛かり、転倒したところにあったU型のコンクリートにぶつかり、腕を負傷した。	58	1～ 9
5	17～ 18	荒れ畑で、周囲の竹や木を伐採作業中に、倒して小切りにした直径20cm・長さ1.5m程の丸太を乗り越えようとして、足を乗せたら丸太が転がり、転んだ際に左手をつき、手首を骨折した。	45	1～ 9
6	16～ 17	盛土法面部で一輪車に土砂の積み込みを行い、作業箇所へ移動しようと方向転換した際に、バランスを崩して転倒した時、一輪車のハンドル部分が大腿部に当たった。	57	1～ 9
6	16～ 17	パーキングエリア内にて、トラックの積み荷を固定していたロープのゆるみを締め直そうとして引っ張った時、手が滑り、後ろに転んだ。転んだ時に右手を地面につき、右手首を痛めた。	44	1～ 9
6	9～ 10	草刈り作業の為に、作業現場に到着し、車両の荷台に乗って、作業用具の積み下ろしを行っていた際、荷台の上で用具に躓いてしまい、体のバランスを崩し転倒してしまい、その際に荷台の一部に右肩を強くぶつけ負傷したものである。尚、当日は痛みがあったものの、そのまま作業を続け、翌日に痛みが増した。	18	10 ～ 29
6	8～9	会社の資材置場で、草刈機で除草作業中、生い茂った草で見えなかったU字溝の上に乗ってしまった。雨が降っていたため滑って、左側に転倒してしまい、左	72	～

		側の首を強打した。		29
6	13~ 14	工事現場で作業移動中、足元がふらつき、手をついた所に型枠固定金具があり、手に突き刺さり、左手の平を切った。	54	10 ~ 29
6	9~ 10	自社資材置き場にて、資材の片付け作業を行っていたところ、塩ビパイプを移動した際に、雨で濡れた地面で足を滑らせて転倒し、左肩部を脱臼した。	70	30 ~ 49
7	15~16	事務所倉庫にて作業中、足場を整理していたところ転倒し、床にあったH鋼にぶつけて骨盤を骨折した。	45	10 ~ 29
7	14~15	事務所敷地内にある作業場において、排水柵を制作するためにコンクリートを流し入れた枠を取り外す作業をしていたところ、足を滑らせ転んだ時に手をつき左手中指及び薬指を骨折した。	18	1~ 9
7	14~15	整地作業が終わり、帰り支度のため車両を誘導していた際、碎石が積まれているところで足をとられ転倒してしまい、誘導していた車両の後輪に足を引かれ負傷した。	36	10 ~ 29
7	14~15	場内工事用道路にて、敷鉄板盛り替え作業を行っていた。玉掛け作業完了後、重機作業半径の外に退避する際、敷鉄板上の泥で足を滑らせ転倒した。転倒した際に、右足くるぶしを敷鉄板の角に、強打し骨折した。	54	50 ~ 99
7	16~ 17	荷持ちを両手で運んでいる時に、現場にあった高密度ポリエチレン管の上を渡り歩き滑って転び胸を打った。現場は荷物を運ぶのにそのポリエチレン管の上しか歩く所がなく、やむなくその上を渡り歩いた。	35	1~ 9
7	10~ 11	材料を積み降し中、石に躓き足を挫いた。	63	1~ 9
7	10~ 11	会社資材置場で鉄板（800kg）の整理整頓中、吊荷の鉄板が振れて、離れようとした際に足元に角材があり、躓いて左足首を捻った。	57	1~ 9
7	15~	資材置場で仕分け作業中、足がもつれて転倒し、左手を単管にぶつけ負傷した。	61	1~

	16			9
7	10～ 11	現場内の歩道を歩行中、足を滑らせ転倒した際に、左肘をついた。作業方法は、現場指示通りに施工しており、足元の確認が不十分であったと思われる。当日は打ち身程度と感じていたが、痛みがとれず、腫れも出たため受診した。	62	10～ 29
7	16～ 17	資材置場の草刈りを行うために片付けを行っていた際、転倒して右手で支えたときに、右肩より異音がした。	43	10～ 29
9	13～ 14	区内の草刈り清掃中、土手の傾斜より転倒した。その際、使用していたビバーが右足首に接触し切傷した。	71	1～ 9
9	13～ 14	建設機械の約50kg位のランマーの積みおろし作業中に、ランマーが倒れそうになった為押さえようとしたら一緒に転倒した。そのまま早退し病院を受診し、それにより右肘、右肘周辺を骨折した。	51	10～ 29
9	11～ 12	庭園にて、維持管理作業中、斜面を移動していた際に足を滑らせ、右手を斜面についたところ、手首を骨折した。（前日の雨で地面がぬかるんでいた）	70	1～ 9
9	16～ 17	外溝工事においてコンクリートブロック積工事の際、ブロックの穴に指をひっかけた状態で両手で一個ずつ持ち運んでいた時、地面に置いてあったブロックにけつまずきブロックを持った状態で地面に突いた際、左手中指が反り返り負傷する。	69	1～ 9
9	14～ 15	散水車ホースにて殺虫・殺菌剤を散布中、ホースジョイント部分近くを持ち力強く引っ張っていたところ、ジョイント部分の留金具が外れ、そのまま後方へ転倒してしまい、腰を強打した。	56	30～ 49
9	9～ 10	ガス導管敷設工事の現場で、規制帯設置後、4tダンプトラックを規制帯に入場させ、定位置につけた後、運転手が4tダンプトラックから降車しようとして、ドア付近にあったカラーコーンに気付かず、つまずき転倒した。	40	50～ 99
9	15～ 16	構内の坂道を迂回せずに、途中の傾斜を手ぶらで昇降していた時に、左足が溝より左側に傾いたので、左手で体を支えた手首を痛めて、そのまま横倒しに転倒して左胸を強打した。そのまま座り込み社有車で医師に搬送して診断を受けた結果、左手首と左胸骨折打撲、背部打撲で休業加療の見込みとなった。	64	50～ 99

10	15～ 16	公園の維持管理業務において、背負式ブロアにて落葉の集積作業中に、法面の落葉を飛ばそうと足を1歩法面にかけたところ、足を滑らせ転倒し被災した。	69	10 ～ 29
10	15～ 16	当社置場にて残土の整理作業を行い、4tトラックにて、残土を処理する会社の置場へ残土を搬入した。ダンプの荷台に乗りスコップで清掃作業を行っていたところ、荷台の床で滑ってしまい、荷台のあおりに右脇胸、右脇腹付近を強打し、負傷したものである。	43	10 ～ 29
10	8～9	自社所有の造成前の土地に、工事看板を取り付けようとした時、入り口の坂道でつまずき、転倒して左肩を打ってしまった。	51	30 ～ 49
10	15～ 16	舗装工事現場でスコップでアスファルト合材を運んでいる途中で踏み出した右足が滑り、そのはずみで左膝を舗装型枠に強打した。被災当日は当日作業を終えてそのまま帰宅したが、翌朝痛みがひかず、骨折が判明した。	23	10 ～ 29
11	8～9	倉庫内で転圧機（プレート）を搬出しようとした際に、足元に物がある不安定な状態で引っ張り転倒して腰を痛めた。	38	1～ 9
11	18～ 19	当社機材センターにて、当社所有の車から降りて自家用車に向かって歩行中、左足が滑って開脚状態となった際に、右足に体重が掛かり右膝を捻挫した。	69	30 ～ 49
11	13～ 14	場内を徒歩で移動中、雪で隠れていた凍結路面で足が滑り後方に転倒した。この時、体を支えるため左腕を伸ばし手をついた際、左腕を負傷した。	69	30 ～ 49
11	14～ 15	第1資材センター内事務所2階の片付けをしていた際、不要になった図面等を抱え持ち階段を下りてきたが最後の3段目でバランスを崩し前面より転落した。右手をつき右顔面を強打した。	48	30 ～ 49
11	10～ 11	建物入口前、剪定も終わり、次の現場へ行くため強雨の中視界も悪く、小走りで慌てていたため片付中に特に段差もないところで躓いて転ぶ。その際に両手（左手はグー）両膝をついて左手小指を骨折する。顎にも擦り傷、両膝は打撲する。	55	10 ～ 29

11	13~ 14	直径5cm程の竹を伐採するため、切り口を入れ、竹をつかみ手前に折り倒そうとした際、切り口を入れた所から竹が切断して外れたため、バランスを崩し仰向けに転倒した。転倒した際に、地面から出ていた、すでに切った竹の切り株に腰があたったため、作業を中断し休んでいたが、胸が痛み出したので病院へ行った。	73	1~ 9
11	12~ 13	現場で測量作業中に、丸太倒木を踏み越えようとして丸太に足をかけたところ、足を滑らせてバランスを崩し転倒し、左脇腹を丸太で強打した。	51	1~ 9
12	0~1	雪見パトロール時に降雪状況の写真撮影のため、黒板を持っていた所、黒板が風にあおられ、左足にあたり転倒した。	42	30 ~ 49
12	11~12	工場において、当社廃プラスチックを片付け廃棄処分すべく同工場に運び、事務所にて受付を済ませ外に出て段差養生のための鉄板に足を乗せたところ、不意に滑り左側前頭部から転倒し、その際右膝を打ち負傷したものである。当日の履物は長靴であり、雪はなかった。	53	1~ 9
12	14~15	会社内倉庫で材料の片付けをしている時に、2人でパイプを運搬中に転倒してしまい、持っていたパイプと壁に指を挟んでしまった。当日、雪が降っていたので足元が滑りやすくなっていた為、十分注意はしていたが、雪下の碎石でつまずいてしまった。	65	1~ 9
12	6~7	PA内の清掃員倉庫入口にて清掃作業準備中に、入口にある17cmの段差に躓き、左肩から転倒した。	64	1~ 9
12	9~10	宅地造成工事現場において、不要となったコンクリート蓋を2tダンプに載せるため、重機積み込み用の足場を利用して人力で運搬中に、足を滑らせバランスを崩して転倒した。その際に2枚の足場の間に足が挟まり、左膝の外側を負傷した。	25	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html